

みどいのこだま

～ふくしまから はじめよう～

福島県相双農林事務所農業振興普及部
〒975-0031 南相馬市原町区錦町1-30
TEL (0244) 26-1149
FAX (0244) 26-1169
E-mail: shinkouhukyu.af06@pref.fukushima.lg.jp

農業を諦めないA.C.ハマーズ2001 PR販促イベント

相馬地方の青年農業者団体「A. C. ハマーズ2001」は、県産農産物の風評の払拭と当団体のPRを目的として、福島県農林水産物PR支援事業を活用し、11月9、10日にかけて福島県のアンテナショップ「ふくしま市場（イトーヨーカドー葛西店内）」でPR・販促イベントを実施しました。

メンバーが生産した新米や、ホウレンソウ、リーフレタス、ジャガイモ、リンゴのほか、シクラメン、パンジーやビオラなどの鉢花類も販売しました。コシヒカリと天のつぶの食べ比べや、リンゴなどの試食は来店者から大好評であり、用意した農産物は、ほぼ完売しました。

さらにメンバーらは、イトーヨーカドーの来店者を対象に、「農産物の風評に関する消費者調査」を独自に実施しており、今後、得られた意見を分析し、販売戦略に生かしていく考えです。



「新米はお子様にも大好評」



「商品の説明にも熱が入ります」



「消費者の生の声を集めました」

北萱浜機械利用組合について

津波でほとんどの農地が被害を受けた北萱浜地区では、本年設立された北萱浜機械利用組合が、本格的な営農再開を目指して1haの秋冬ネギ栽培に取り組んでいます。

ネギは機械化一貫体系が確立している品目で、共同作業化に向いており、在圃期間が長いので、出荷計画が立てやすく、ほ場の土壌条件に適しているため選定されました。

ネギ用の農業機械・施設等の導入については、被災地域農業復興総合支援事業によるリースで導入し、事業対象とならない施設・農具類等は、民間からの支援で確保しました。

組合員の皆さんがネギ栽培に取り組むのは初めてなので、県やJAの指導を受けながら作業を共同で行い、3月に播種、5月に定植、その後は順調に生育し、11月上旬に初出荷に至りました。地区の圃場整備完了後は、5haまで規模を拡大する計画で、将来は法人化も目指しています。



3月 播種作業



8月 生育状況



11月 出荷準備

水稻を生産された農家の皆様へ

米の全量全袋検査について

平成 24 年産米から開始しました放射性セシウムの全量全袋検査については、相馬地方の米の安全性を確認し、消費者に安心して食べていただけるように平成 25 年産米も継続して実施しております。

2 年目の取組となりました本年度は、9 月 5 日より実施しており、現在、生産量全体の 9 割近くの検査が終了しました。皆様のご協力に対して感謝を申し上げます。

検査結果は、県内全体の 99.9% 以上の米が 25 Bq/kg 以下でした。相馬地方は、全体の 98.9% の米が 25 Bq/kg 以下でしたが、残念ながら現時点で 12 袋ほどの基準値超過が見られました。現在、国と連携し、要因の解析と対策の組立を進めておりますので、できるだけ早い時期に皆様にお知らせしたいと考えております。

また、本年度は、震災後初めて糶摺り機等を使用する場合には、交差汚染対策の実施を呼びかけてまいりましたが、小さなゴミ等が原因で高い値を示す米袋が見られましたので、次年度の玄米調製作業では、十分注意する必要があります。

平成 26 年産米は、消費者に安心して食べてもらえる米を生産するため、すべての玄米の放射性セシウムが 25 Bq/kg を下回るように対策を徹底する必要がありますので、より一層のご協力をお願いいたします。

なお、まだ未検査の飯米等がある方は、早めに全袋検査場に申し込みをお願いします。



写真
全量全袋検査の様子（左：J A 那須鹿島倉庫、右：J A 那須下石テント倉庫）

平成 25 年産大豆・小豆モニタリング検査について

相馬地方で販売される大豆・小豆は、平成 24 年度に引き続き、緊急時環境放射線モニタリングにより安全性を確認します。販売する際には、旧市町村単位で放射性セシウム検査を行い、安全性を確認する必要があります。安全性の確認のためのモニタリングは、大豆・小豆を生産されている方に、相双農林事務所の職員が訪問するなどして、検体採取を行います。大豆・小豆を出荷・販売する場合は、必ず最寄りの直売所等で検査を行ってから販売されるよう、ご協力をお願いします。

表1 大豆の区域(旧市町村)とモニタリング点数

モニタリング点数	新地町	相馬市	南相馬市		
			鹿島区	原町区	小高区
出荷者全員	福田、新地	大野	真野	石神、高平、大甕、太田	全域
面積1haに1点	駒ヶ嶺	中村、山上	上真野、鹿島	原町	—
地区で3点	—	その他の区域	八沢	—	—

表2 小豆の区域(旧市町村)とモニタリング点数

モニタリング点数	新地町	相馬市	南相馬市		
			鹿島区	原町区	小高区
面積10aに1点	—	—	—	大甕、太田	全域
地区で3点	—	—	上真野、真野	原町、高平	—
地区で1点	全域	全域	鹿島、八沢	—	—

※原町区石神地区は出荷制限地区

産地復興への挑戦① ～アスパラガス産地の再興に向けて～

南相馬市原町区の東部に位置する萱浜地区では、震災前はアスパラガスの新たな産地を作るため農業者、関係者一体となり生産拡大に取り組んできました。

しかし、津波の被害及び東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による避難等により、産地は壊滅的な被害を受けました。農業者の多くは、2年8か月を経過した今も避難生活を余儀なくされています。

こうした中、住宅・農地・資機材などを津波により流失した田部政治（たなべ まさはる）さんは、震災直後から瓦礫に覆われたアスパラガス畑（10a）の復旧を進め営農再開を果たすとともに、経営基盤を再構築するために平成 24 年度に農業経営改善計画の認定を受け、農地の利用権の設定や新植のための苗の確保、施設導入などに積極的に取り組みました。

平成 25 年度は、「園芸産地復興支援対策事業」により栽培ハウス等を整備し、苗 3,000 本の定植を完了しました。次年度の計画も着々と進めています。

田部さんの「農業を諦めない意気込み」は、次の収穫期には「新鮮でおいしいアスパラガス」となって実を結ぶものと確信しています。



新植したアスパラガス



津波被災直後のほ場



新たな栽培ハウスで経営再建を進めます

震災後も頑張っています。相馬地方の野菜産地 全て、平成 25 年度の栽培状況です



南相馬市を中心に栽培されているブロッコリー。4ha 以上の生産者も



伸び率 No.1 のネギ。相馬市を中心に全域で栽培者が増加中。



施設栽培で周年生産。南相馬市を中心に栽培されているキュウリ。



畑の土を使わない、簡易隔離栽培によるトマト。



水稲育苗ハウスや空きハウス等の有効活用が進む、需要も多いミニトマト。



高品質で知られる新地町を中心に栽培されるニラ。

**新規栽培者求む
野菜講座の開催**

お問い合わせは、相双農林事務所又は各営農センターまで

日時：平成25年12月18日(水) JA そうま本店 3階会議室 13:00~17:00

農業経営講座のご案内について

回	日 時	名 称	対 象 者
1	平成 25 年 12 月 20 日 (金) 10:00~16:00	農業簿記の基礎 (入門編)	簿記初心者向け
2	平成 26 年 1 月 23 日 (木) 1 月 24 日 (金) 10:00~16:00	パソコン農業簿記講座 (ソリマチ農業簿記、エクセル農業簿記)	簿記初心者でパソコンが使える農業者
3	平成 26 年 2 月 7 日 (金) 9:30~12:00	所得税申告書の作成方法と主な控除	農業者
4	13:00~16:00	農業法人の税務処理のポイントについて	農業法人構成員、農業法人に関心のある方
5	平成 26 年 2 月 21 日 (金) 9:00~16:00	個別税務相談会	農業者
6		ソリマチ農業簿記、エクセル農業簿記の個別相談会	パソコン簿記実践農業者

講 師 佐原茂税理士 (佐原茂税理士事務所)、相双農林事務所職員 等
会 場 福島県南相馬合同庁舎 南庁舎 101 会議室 **参加料** 無 料
参加方法、及び、申込み締め切り

福島県相双農林事務所 農業振興普及部 地域農業推進課
 電 話：0244-26-1150 FAX：0244-26-1169
 第 1 回日の講座は、平成 25 年 12 月 16 日 (月) までに、
 それ以降の講座は、開催予定日の一週間前までに電話又は FAX でお申込みください。
 なお、講師の都合により日時が変わる場合は、参加希望者にご連絡いたします。

トルコギキョウをつくってみませんか！ 花きセミナーのご案内

お申し込みは、相双農林事務所
又は最寄りの営農センターまで

トルコギキョウの花言葉は「よい語らい」「優美」「希望」です。清楚で華やかな花です。

相馬地方のトルコギキョウ栽培は飯舘村を中心に産地が形成され、市場から高い評価を得ていましたが、震災により甚大な被害を受けました。一方で、南相馬市などで新たに栽培を始める生産者が出始めており、産地再生と発展につながる動きが見られています。

トルコギキョウは、人気が高く、業務用から家庭用まで幅広く利用されている花です。皆さんも取り組んでみませんか。



Let's try トルコギキョウ振興セミナー

1 日時及び場所

平成 26 年 1 月 16 日 (木) 13:30~16:00 JA そうま原町総合支店 2 階会議室

2 内 容

- (1) 講演「Let's try トルコギキョウ！有望品種と栽培上のアドバイス」(仮)
 福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科長 矢吹 隆夫
 福島県農業総合センター 作物園芸部 主任研究員 佐久間光子
- (2) 事例報告「トルコギキョウの営農再開の取組について」(仮)
 JA そうま 花き生産者
- (3) 「今後のトルコギキョウ振興の方向について」

3 参集範囲 花き栽培希望者、花き生産者、農産物直売所会員

4 主 催 相双農林事務所、JA そうま

**参加申込締め切り
平成 26 年 1 月 10 日 (金)**